

1. 東洋英和女学院大学による農場を利用した食育演習

(1) 実施日程・内容

平成25年9月3日(火)～9月6日(金)
教員1名, 学部生15名

9月3日(火)		
日程	授業形態	内容
午後	—	本演習のガイダンス
	—	歓迎会／交流会

9月4日(水)		
日程	授業形態	内容
午前	実習	家畜の世話とウシの乳搾り体験1
午後	講義, 実習	ニワトリの体のしくみ
	講義, 実習	生乳の加工(バター作り／牛乳の試飲)
	講義, 実習	技術職員による講義／発表会準備

9月5日(木)		
日程	授業形態	内容
午前	実習	家畜の世話とウシの乳搾り体験2
午後	講義	食と農業に関するDVD鑑賞
	講義, 実習	作物(ウシの餌)の秘密を探る
	演習	発表会準備

9月6日(金)		
日程	授業形態	内容
午前	演習	発表会準備
	演習	課題発表会
	—	修了証書授与式

(2) 演習風景

<歓迎会／交流会>



交流会は同時期に開講された非農学系の他大学学部生向けの演習である「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」の受講者と合同で行われ、自己紹介や班ごとの交流が行われた。

<家畜の世話>



受講生は家畜へのエサやりや子牛の哺乳、子ヤギとのふれあい等の様々な体験を通して食の源となる家畜動物を身近に感じている様子であった。

<講義：牛乳が食卓にのぼるまで>



農場の牛から搾られたミルクが牛乳になるまでの過程を追い、牛乳の飲み比べやバター作りを通して生乳と牛乳との違いについて理解するとともに、売られている牛乳には様々な種類があることを学んだ。

<食と農業に関する DVD 教材の鑑賞>



受講生らは食と農業に関する DVD 教材の鑑賞とそれに関する講義を受け、食と農業の現場で実際に起きている問題について考えた。

(3) 受講生によるアンケート評価

受講者人数：計 15 名

I-1【受講生の属性】

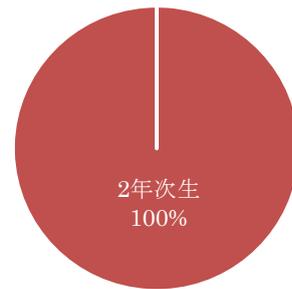
- ・受講生は全員東洋英和大学人間科学部保育子ども学科の2年次生の女性であった。受講生の専門は農学とは直接関連はないが、引率教員（山下先生）の意向もあり、農場での体験を今後の保育に生かしたいなど、フィールドでの自身の体験を専門分野へ汎用することを目的から受講した学生が多く見られた。
- ・受講生の3割強はフィールドでの授業を受けた経験、特に農業体験を行ったことがあると回答しているが、7割近くはフィールド教育自体に経験がないと答えている。本演習は、特に、こうした学生に対する教育の機会の提供という意味で非常に有効であったと考えられる。

I-1-1) 所属大学及び学部（コース）

東洋英和女学院大学 人間科学部保育子ども学科

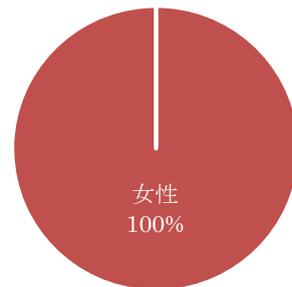
I-1-2) 学年

- 1年次生…該当者なし
- 2年次生…15名
- 3年次生…該当者なし
- 4年次生…該当者なし



I-1-3) 性別

- 男性…該当者なし
- 女性…15名

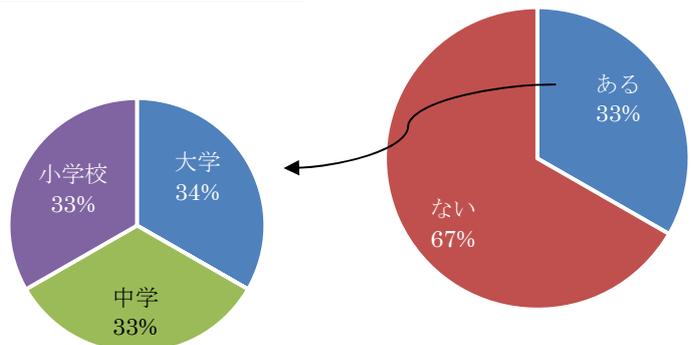


I-1-4) これまでにフィールドで何らかの授業を受けた経験があるか

- ある…5名

I-1-5) それほどの時期か（複数可）

- 大学…2名
- 高校…該当者なし
- 中学…2名
- 小学校…2名
- ない…1名



I-1-6) 授業内容

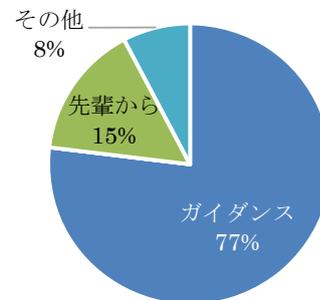
- 大学内に生えた食用植物を使って料理し子ども達にふるまう
- 農家にホームステイし農業体験
- 田植えやネギなどの収穫体験
- 米の栽培

I-2 【本授業に参加するにあたっての情報収集】

・受講生の8割近くが「ガイダンス」(山下先生によるもの)によって受講を決めている。また、昨年度「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」を受講した先輩を通じてこの演習についての情報を得ている学生も15%おり、学生同士のつながりによって演習が認知されつつある。

I-2) 本授業を何を通して知ったか

- ガイダンス…10名
- パンフレット…該当者なし
- 先輩から…2名
- ネットで…該当者なし
- その他…1名



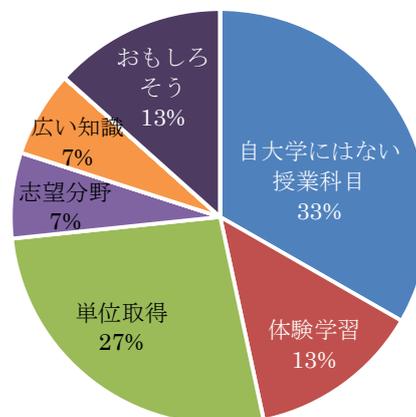
I-3 【本授業に参加した理由】

・演習を受講した最も大きな理由は、「自分の大学にはない授業科目だから」をあげた学生が33%で最も多かった。「体験学習だから」をあげた学生が13%と多く、フィールド教育に対する学生側の関心が伺える。また、「おもしろそうだから」も13%を占めており、演習の内容についても学生の興味を惹くものであったと考えられる。

・「単位が取得できるから」をあげた学生も多く、単位互換システムが構築されていることも受講の大きな動機のひとつとなったようだ。

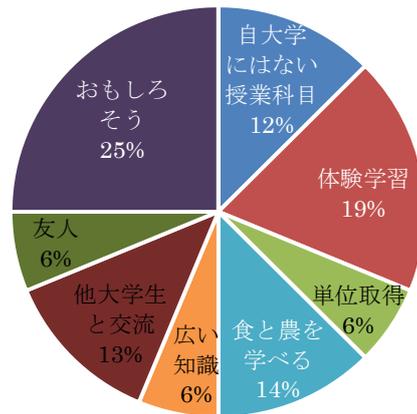
I-3-1) 最も強い動機

- 自分の大学には無い授業科目だから…5名
- 体験学習だから…2名
- 単位が取得できるから…4名
- 現在の志望分野に関係するから…1名
- 食と農について学べるから…該当者なし
- 広い知識を得たいから…1名
- 他大学のことを知りたいから…該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから…該当者なし
- 友人が参加するから…該当者なし
- おもしろそうだから…2名



I-3-2) 二番目に強い動機

- 自分の大学には無い授業科目だから… 2名
- 体験学習だから… 3名
- 単位が取得できるから… 1名
- 現在の志望分野に関係するから… 該当者なし
- 食と農について学べるから… 2名
- 広い知識を得たいから… 1名
- 他大学のことを知りたいから… 該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから… 2名
- 友人が参加するから… 1名
- おもしろそうだから… 4名

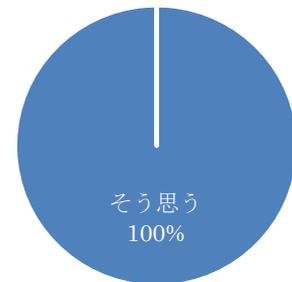


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

・本演習を受講した 100%の学生が「自分の大学にはない科目である」と答えている。さらに、他大学で授業を受講できてよかったと思うか、の問いに対しては、67%が「強くそう思う」、33%が「まあまあそう思う」と答えており、多くの学生が自分の所属する大学では履修できない授業を受講できることを肯定的感じていることがわかった。

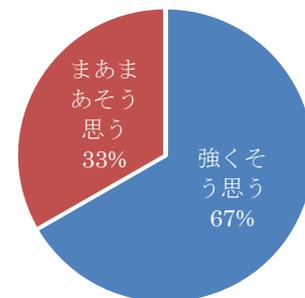
I-4-1) フィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容である

- そう思う… 15名
- 自分の大学にも類する科目がある… 該当者なし
- わからない… 該当者なし



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

- 強くそう思う… 10名
- まあまあそう思う… 5名
- あまりそう思わない… 該当者なし
- 全く思わない… 該当者なし

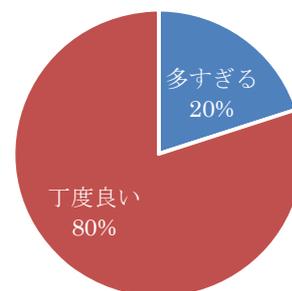


I-5 【他大学の学生との交流について】

- ・授業の定員については、「丁度良い」が80%を占めていた。ただし、「多すぎる」とした学生も20%いた。これは、「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」の受講生アンケートの結果と類似している。
- ・他大学の学生と同じ授業を受けることについては好評で、また、今後も交流の機会を増やすことはいいことだ、という設問に対しても肯定的であるが、実際に交流できたか、という問いに対しては、「あまりできなかった」と答えた学生が13%を占めた。この点については、他大学利用として「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」とは、一部別グループで受講していたことも関係していると思われる。

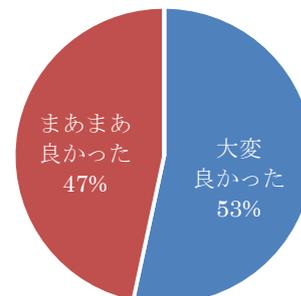
I-5-1) 今回の授業の受講生数

- 多すぎる…3名
- 丁度良い…12名
- 少なすぎる…該当者なし



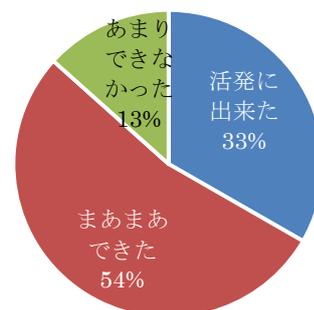
I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった…8名
- まあまあ良かった…7名
- あまり良くなかった…該当者なし
- 悪かった…該当者なし



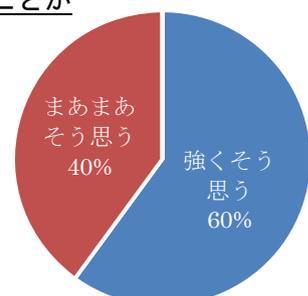
I-5-3) 他大学の学生とどの程度交流ができたか

- 活発に出来た…5名
- まあまあ出来た…8名
- あまり出来なかった…2名
- 全く出来なかった…該当者なし



I-5-4) 今後も他大学の学生との交流機会を増やすことは良いことか

- 強くそう思う…9名
- まあまあそう思う…6名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし

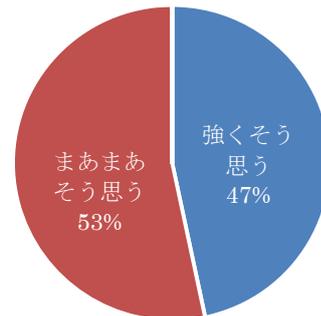


I-6 【本授業は4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている】

- ・ 講義・実習・発表を組み合わせた授業形式については、100%の学生が肯定的に評価しており、3つのうちで面白かったものについては、やはり実習と答えた学生が87%で最も多かった。
- ・ 演習の日数については、86%が「丁度良い」と答えており、概ね妥当な日程であると考えられる。

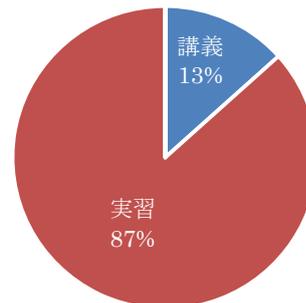
I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う…7名
- まあまあそう思う…8名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



I-6-2) 3部のうち最も面白かったもの

- 講義…2名
- 実習…13名
- 発表…該当者なし

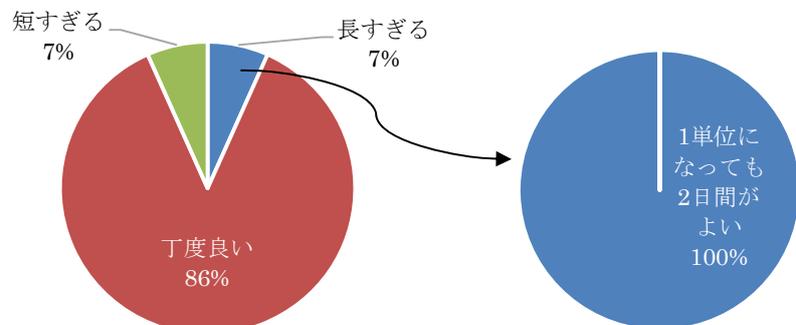


I-6-3) 3泊4日の日数について

- 長すぎる…1名

I-6-4 何日間なら良いか

- 1単位になっても1泊2日がいい…1名
- 1単位になっても2泊3日がいい…該当者なし
- 丁度良い…13名
- 短すぎる…1名

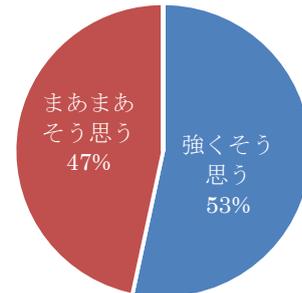


I-7【参加費に関して】

- ・参加費については、すべての学生が参加費は妥当であると答えている。
- ・食事については、今年度も業者を再検討し、実習で実際に受講生が作ったカレーやヨーグルトなどを食事として提供するなど、食と農の結びつきについて考えられるよう考慮した。これによって、14%が「満足」、73%が「まあまあ満足」と答えており、概ね満足しているという回答が得られた。
- ・宿泊施設についても、9割以上の学生が満足していると答えている。

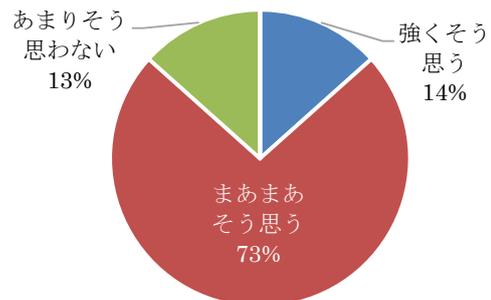
I-7-1) 自分の得た物を考えると、参加費は妥当か

- 強くそう思う…8名
- まあまあそう思う…7名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



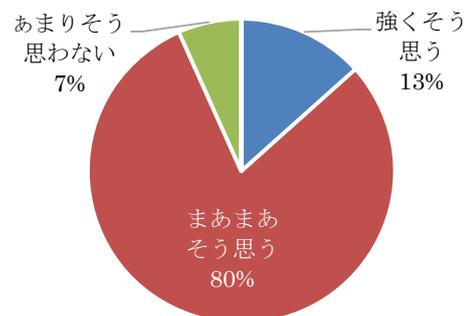
I-7-2) 参加費から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う…2名
- まあまあそう思う…11名
- あまりそう思わない…2名
- 全く思わない…該当者なし



I-7-3) 参加費から考えて、宿泊施設は満足できたか

- 強くそう思う…2名
- まあまあそう思う…12名
- あまりそう思わない…1名
- 全く思わない…該当者なし

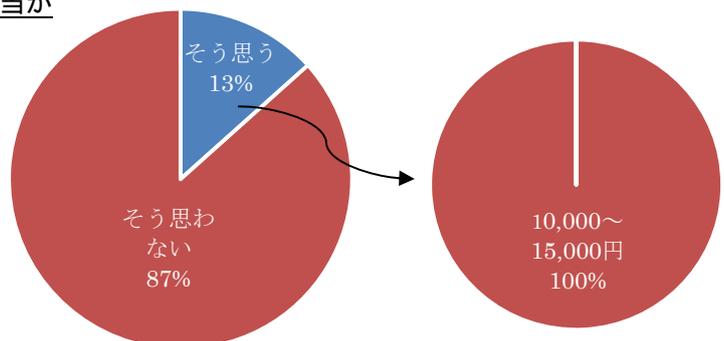


I-7-4) 参加費をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くして欲しいか

- そう思う…2名

I-7-5) どの程度の参加費が妥当か

- 7,000~9,000…該当者なし
- 10,000~15,000…2名
- 15,000~20,000…該当者なし
- 20,000~25,000…該当者なし
- そう思わない…13名



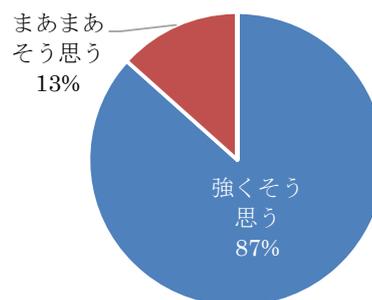
I-8 【食農フィールド科学演習全体について】

「講義だけの授業よりも物事を考える上で有意義である」、「フィールド科学の幅広さや面白さを知った」、というフィールドを利用した演習の効果について、高評価を得られた。また、本演習のテーマである「食と農」に関する設問では、「食べ物と命の関連性」、「食料生産の重要性」を100%の学生が意識しており、高い学習効果があったと考えられる。

- 一方で、「行動力・積極性」「コミュニケーションスキル」については、昨年の命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習同様、否定的な回答が散見されたが、概ね8割の学生がこれらのスキルについても向上することができたと答えている。「リーダーシップ」については、否定的な意見が6割を占めた。一緒に「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」を受講した学生は肯定的な意見が大半を占めているため、受講生の中で役割分担が明確化した結果、このような回答が得られたと考えられる。
- 「来年度以降も開講するのがよい」「後輩にも勧めたい」という設問は肯定的な回答が100%を占めた。参加前の期待に対する満足度も、6割が「非常に満足」、4割が「まあまあ満足」と回答しており、受講生の満足度はおしなべて高い。

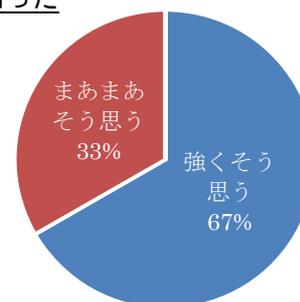
I-8-1) 講義だけの授業よりも物事を考える上で有意義である

- 強くそう思う…13名
- まあまあそう思う…2名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



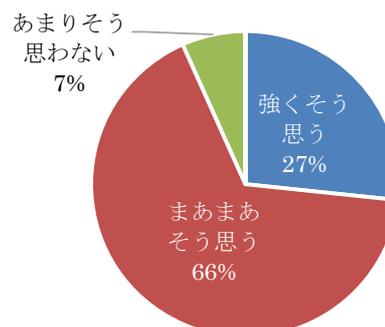
I-8-2) この演習によってフィールド科学の幅広さや面白さを知った

- 強くそう思う…10名
- まあまあそう思う…5名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



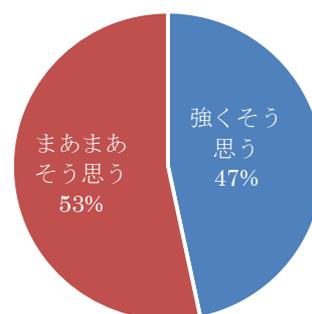
I-8-3) この分野についてもっと知りたくなった

- 強くそう思う…4名
- まあまあそう思う…10名
- あまりそう思わない…1名
- 全く思わない…該当者なし



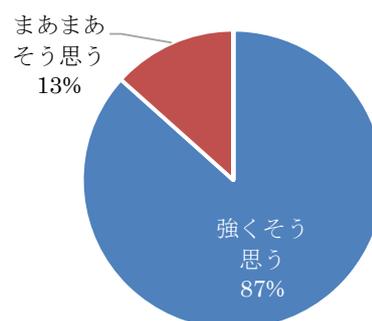
I-8-4) この演習によって農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり視野を広く持てるようになった

- 強くそう思う…7名
- まあまあそう思う…8名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



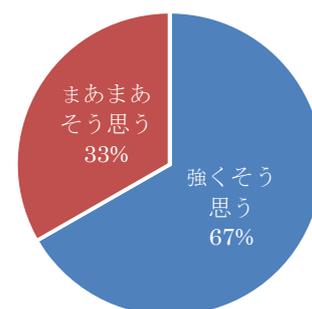
I-8-5) 食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う…13名
- まあまあそう思う…2名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



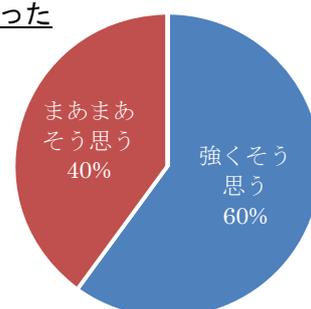
I-8-6) 食糧生産の重要性について考えるようになった

- 強くそう思う…10名
- まあまあそう思う…5名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



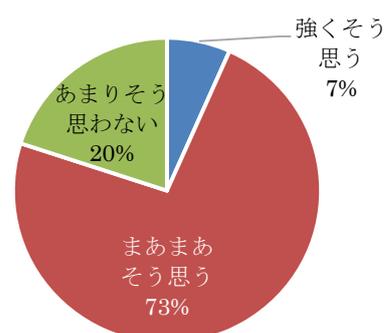
I-8-7) 今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- 強くそう思う…9名
- まあまあそう思う…6名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



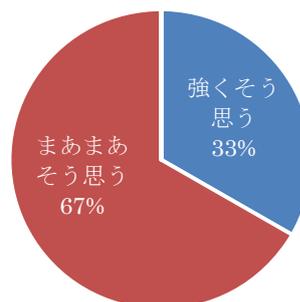
I-8-8) 自分なりに行動力や積極性を高める事ができた

- 強くそう思う…1名
- まあまあそう思う 11名
- あまりそう思わない…3名
- 全く思わない…該当者なし



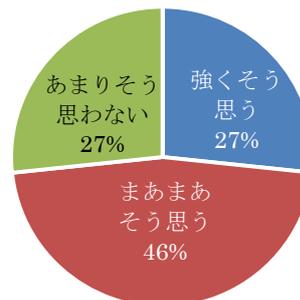
I-8-9) これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う…5名
- まあまあそう思う…10名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



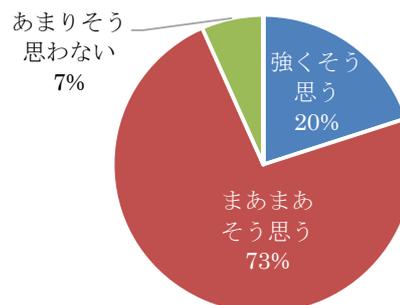
I-8-10) 他大学の学生と交流する事によってコミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う…4名
- まあまあそう思う…7名
- あまりそう思わない…4名
- 全く思わない…該当者なし



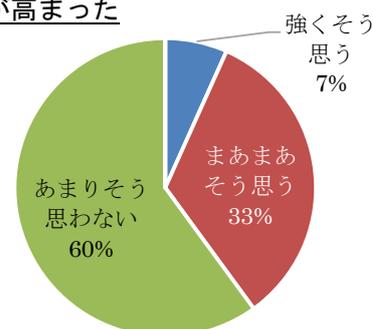
I-8-11) グループ単位の実習によってチームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う…3名
- まあまあそう思う…11名
- あまりそう思わない…1名
- 全く思わない…該当者なし



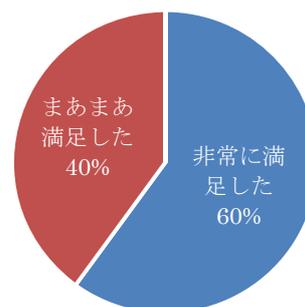
I-8-12) グループ単位の実習によってリーダーシップをとる力が高まった

- 強くそう思う…1名
- まあまあそう思う…5名
- あまりそう思わない…9名
- 全く思わない…該当者なし



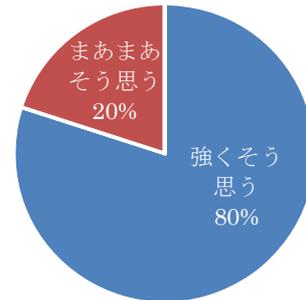
I-8-13) 参加する前の期待度に比べた満足度

- 非常に満足した…9名
- まあまあ満足した…6名
- あまり満足できない…該当者なし
- 全く満足できない…該当者なし



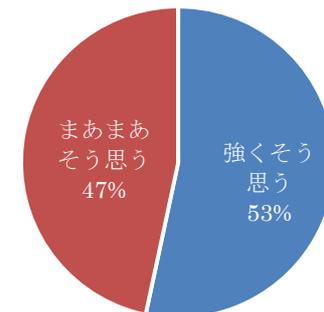
I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- 強くそう思う…12名
- まあまあそう思う…3名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思った

- 強くそう思う…8名
- まあまあそう思う…7名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし

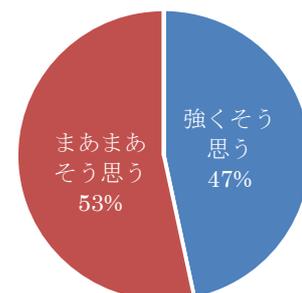


I-9 【その他】

- ・「食農フィールド科学演習意外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしい」という問いに対して、すべての学生が「強くそう思う」、「そう思うと回答している」が、他大学の学生と比較して（74%）強くそう思うと答えた割合は低かった（47%）。
- ・フィールド演習一般についての意見については、肯定的な意見が大半を占め、学生にとって有意義な演習であったことが伺える。

I-9-1) 食農フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しい

- 強くそう思う…7名
- まあまあそう思う…8名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



I-9-2) フィールド演習一般についての意見

《感想》

- 初めての人ばかりのなかに飛び込むことは私には非常に勇気がいる事だったが、必修だったおかげで参加できた。良かった。
- 普段学ばない分野に触れる事ができて良い。他大学の学生と交流することで色々な意見が得られる。
- 毎日内容が幅広く異なっていたため、飽きずに受講することができました。

- 普段来ない場所、学ばないことを体験できることは自分にとって、とてもプラスになることだと思う。
- 大学に入学すると1つの分野に凝り固まってしまうことがあるので様々な分野をのぞけるフィールドワークはとても良いと思う。
- 自分の大学にはないこともフィールドワークで他大の人たちと学ぶというのはとても良いことだとおもいました。
- 座学だけでは理解できないようなことを身をもって学ぶ事ができるのは良いことだと思う。
- 自分の専門とは違うことを行うことで新鮮であり、そこから自分の専門とつなげることができるため良いと思う。
- 農場の方もTAの方々も分かりやすく新設に教えてくださったので、初めてでも楽しく、分かりやすくてできた。こういった機会は本当に貴重なのでこの演習にも参加して良かったと思った。
- いつも学んでいる分野とは全く違う分野、全く知らない先生から教わるというのはいい緊張感のなかで演習が受けられとてもよかった。
- 乳しぼりなど、ふだんの農場見学（牛と触れ合う）では体験できないのでとても良かった。
- 自分の大学内では学べないことを学ぶ機会があるのはいいことだと思います。視野が広がった気がしました。

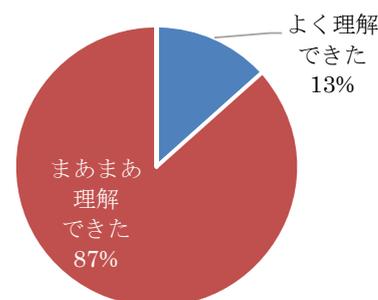
《要望》

- 学内ではこういうフィールドワークのようなものは、出来なくは無いが、自然に囲まれた中で実際にその現場を見ることのほうがより多く知識が得られると思うから、今後も続けて欲しい。
- こういった機会は少ないと思うので、どんどん広めていただきたいです。

Ⅱ-1 【この演習は、講義、実習、発表等から構成されています、今回の講義に関する以下の質問にお答えください。】

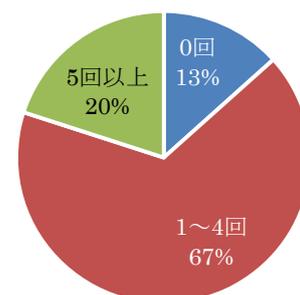
Ⅱ-1-1) 講義内容は

- よく理解できた…2名
- まあまあ理解できた…13名
- あまり理解できなかった…該当者なし
- 全く理解できなかった…該当者なし



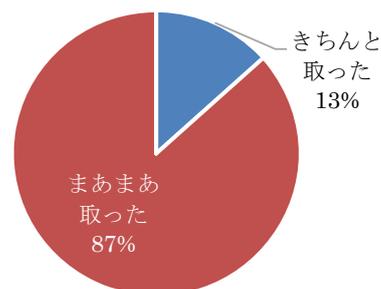
Ⅱ-1-2) 講義内容について、教員や補助者に何回質問したり意見を述べたか。

- 0回…2名
- 1～4回…10名
- 5回以上…3名



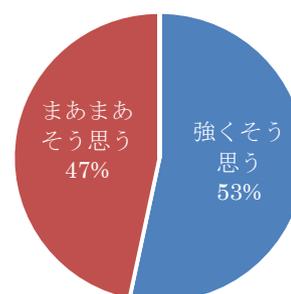
II-1-3) 講義のノートやメモを取ったか。

- きちんと取った…2名
- まあまあ取った…13名
- あまり取らなかった…該当者なし
- 全く取らなかった…該当者なし



II-1-4) 講義内容は、この授業全体や実習の意味、目的、内容を理解させるものであったか。

- 強くそう思う…8名
- まあまあそう思う…7名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



II-1-5) 講義のどのような部分が面白かったか。

- 谷田先生のお話。
- 黒板で説明がなく、自分たちで理解しながら進んだため。
- にわたりの解剖で、体の仕組みを実際に観察できたこと。
- 専門の先生がお話してくれるのも良かったが、現場で働いている方のお話はとても参考になった。
- ただ聞いて講義を受けるのではなく、実物を前にして行ってもらうことで理解しやすくなるので、今回は一つ一つにしっかり着目して受けれて面白かった。
- 東洋英和が別メニューのとき谷田先生がしてくれた話がとても興味深かった。
- 先生の話がとてもおもしろかった。
- 畜産をやっているという立場にしながら、映画にあったような畜産を否定したりしていて色々な考えを先生方が持っていて面白かった。
- 知らない事がたくさん知れた。質問がしやすかった。
- 実際に農業に関わっている人の話を聞いたり自分の知らないことを得る事ができた。
- 普段はきくことができないことばかりで、どれも新鮮だったこと。
- 「ありあまるごちそう」のDVDをみる講座が初めて知る事が多く面白かった。
- 農業の事はよく分からなかったなので、農業についての講義や「信頼」に関する事等広く教えていただき勉強になりました。実際に農場で働いていらっしゃる方からの話もなかなか聞かせていただけることはないと思ったのでためになりました。

II-1-6) 講義のどのような部分が理解しにくかったか。

《用語に関して》

- 話が長く、専門的な用語が多いとき。
- 専門的な用語が入ると説明が少し聞き取りにくかったが、全体的にとても分かりやすかった。
- 専門用語や物の名前。
- 東洋英和以外の生徒は農業について少し理解していたので、様々な単語が出てきて口だけだとあまり頭に入ってこなかった。
- 難しい言葉（専門用語）が少し分かりにくかった。
- 自分は文系の人間なので、少し話が深くなると分かりにくかった。
- 実験室など広い部屋で一人の先生のお話を聞くというのは聞こえにくかった。

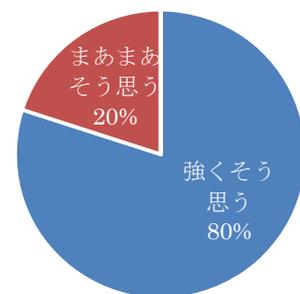
《実験操作に関して》

- 理系の用語や実験での操作が難しかった。

II-2 【今回の実習について】

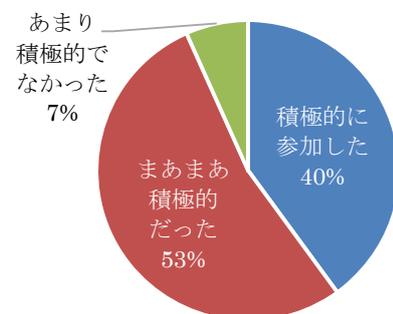
II-2-1) 実習は面白かったか。

- 強くそう思う…12名
- まあまあそう思う…3名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



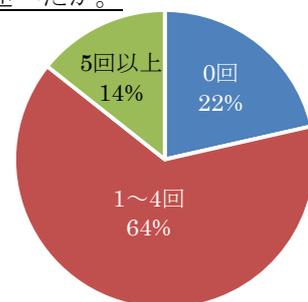
II-2-2) 実習にどのように参加したか。

- 積極的に参加した…6名
- まあまあ積極的だった…8名
- あまり積極的でなかった…1名
- 全く積極的でなかった…該当者なし



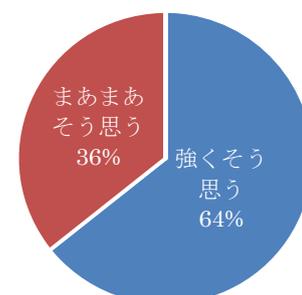
II-2-3) 実習の際、先生や実習補助者に何回質問をしたり、意見を述べたか。

- 0回…3名
- 1～4回…9名
- 5回以上…2名



II-2-4) 実習があることによって、講義内容を理解できるようになったか。

- 強くそう思う…9名
- まあまあそう思う…5名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



Ⅱ－２－５）実習で面白かったのはどのような点か。

《各実習に関して》

- 子ヤギとの触れ合い。
- 家畜に触れられた。貴重な経験が出来た。
- 見るだけではなく、実際に体験できたところ。
- 今回もらったテキストに鶏の部位の説明があったが、実際に解剖しているところを見て、初めて理解できた。
- ニワトリの解剖は非日常的でショッキングだったが体の仕組みを知れて面白かった。
- 実際に動物に触れることができたこと。
- 乳しぼりは自分が予想していたものとだいぶ違って意外性があったので面白かった。
- 初めて自分の目で見ることがとても多く、どの作業にも興味をもって取り組めた。特に、解剖などは自分では絶対にできないので驚く事ばかりだった。
- にわとりの解剖でにわとりという動物からいつも見ている鶏肉などの食べ物になっていく様子が興味深く面白かった。
- 学生の方が目の前で解剖してくれるのは分かりやすく良かった。
- 実際に牛を近くで見たのがはじめてだったので大きさに驚きました。乳しぼり等、普段なら全く体験できないことだったので面白かったです。

《技術職員に関して》

- 作業の合間でも技術員さんがボソッとつぶやくのを聞いて、講義以外での新たな学びができて面白かった。
- 動物に触れるときや近くでみないと分からないこともあったり、飼育している人の話もおもしろかった。

Ⅱ－２－６）実習で改善してもらいたいのはどのような点か。

《タイムスケジュールに関して》

- 時間が切羽詰りすぎている。

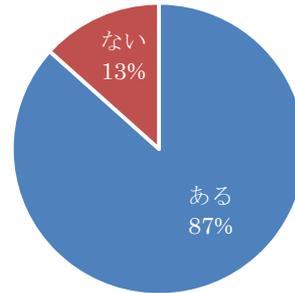
《各実習について》

- もう少し解剖も自分たちで手伝いたかった。
- 人数が多くて全員がきちんと体験できない。話がきちんと聞こえない。
- 他の班が見ていたものが自分の班では見られなかったのを全て見学するものを統一して欲しいです。
- 声が聞こえにくかったので、もう少しはっきり説明してもらいたかった。
- 実習グループによって体験の差があったり、ついている先生によって説明の量が異なること。
- 班によって体験していなかったりムラがあるのは良くない。
- 雨の日の内容。

Ⅱ-3 【今回の発表会について】

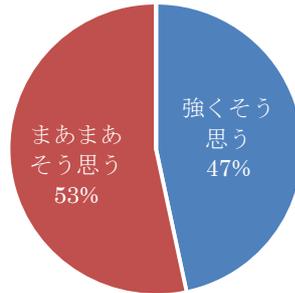
Ⅱ-3-1) これまでにも発表経験があるか。

- ある…13名
- ない…2名



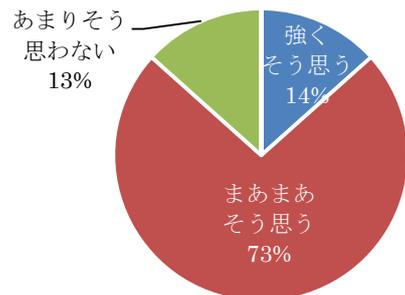
Ⅱ-3-2) 発表は大変苦労した。

- 強くそう思う…7名
- まあまあそう思う…8名
- あまりそう思わない…該当者なし
- 全く思わない…該当者なし



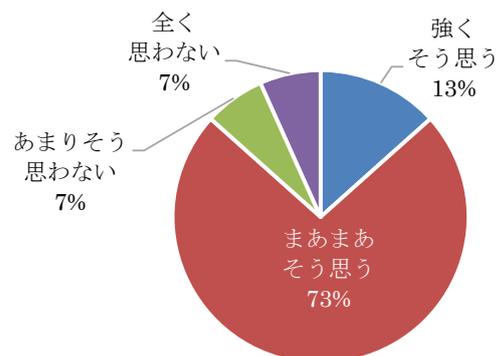
Ⅱ-3-3) 発表のチームワークはうまくできた。

- 強くそう思う…2名
- まあまあそう思う…11名
- あまりそう思わない…2名
- 全く思わない…該当者なし



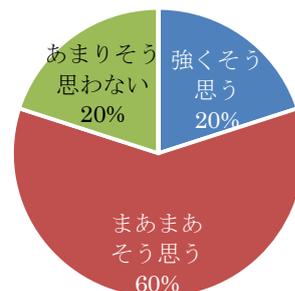
Ⅱ-3-4) 発表内容に満足している。

- 強くそう思う…2名
- まあまあそう思う…11名
- あまりそう思わない…1名
- 全く思わない…1名



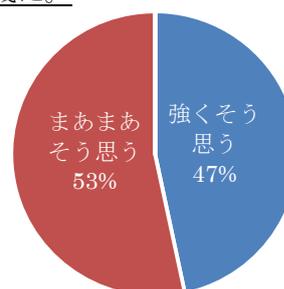
Ⅱ-3-5) 発表のための基礎的な手法が身についた。

- 強くそう思う…3名
- まあまあそう思う…9名
- あまりそう思わない…3名
- 全く思わない…該当者なし



Ⅱ－３－６）発表をすることで、講義や実習がより理解でき、有意義だ。

- 強く思う… 7名
- まあまあ思う… 8名
- あまりそう思わない… 該当者なし
- 全く思わない… 該当者なし



Ⅱ－３－７）発表についてよかった点

《発表全体に関して》

- 同じ体験をしていても、各々感じた事は違って、それぞれの価値観に触れる良い機会になった。
- テーマを絞って追求できたこと。

《発表準備に関して》

- みんなで協力できた。
- 皆で意見を出し合い、まとめられた。発表時に分担できた。
- みんなで何度も意見を出し合い、皆納得するまで話し合えたこと。
- 話し合う力がついた。皆の思っていることや考え方を知る良い時間だった。

《発表に関して》

- 時間が定まれている中での発表だったので、全グループの発表に一つ一つしっかり向き合えて良かった。
- PPで分かりやすくまとめたものをレーザーポインタで指しながら説明できたこと。
- かしこまった内容ではなく、専門外だからこそ素直な感想を発表できて良かった。
- グループで行ったため、自分のみでなく他の人の意見も取り入れた発表ができた。
- グループの人の意見をきいてまとめたり、他のグループでの視点の違いを分かった。
- 自分では考えないような意見を聞けたり、この4日間で行った事をまとめられたこと。
- 違うグループの発表を聞くことによって、自分の考えが改められていったり整理できたり、また新しい考えを知ることができたこと。
- 自分たちだけではなく、様々なグループの発表を見て新しい発見が出来ました。

Ⅱ－３－８）発表について改善した方が良いと思われる点。

《発表準備に関して》

- もう少し準備時間が欲しかった。
- 時間が足りない。
- 作成時間が短かった。
- 準備の時間はもう少しあった方が良かった。
- 発表会の準備をお風呂待ちをしている間、夜ご飯と勉強会の合間の時間にもできたらなお良い。
- 準備時間が短い、深夜は大変。できれば自分たちで写真をとりたい。

《発表に関して》

- マイクの使い方が分かりにくい。
- レジュメがあるととっても面白いと思った。

Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習について】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点。

《良かった点》

- 本当に貴重な体験ができ、とても楽しかったです。参加できて良かったです。ありがとうございました。
- とても丁寧に説明していただき、楽しい三泊四日でした。動物と触れ合う貴重な体験もできて大満足です。ありがとうございました。
- とても多くの TA や専門家の先生方が指導をいつも丁寧に下さったこと。
- 勉強している分野が全く違い、今まで出会ったことのないような人たちと一緒に生活ができて吸収するものが多かった。こういう場は必要だと思う。
- 今まで農業について全く考えてもいなかったのですが、人生でこんな貴重な体験をすることはめったにないので、とても楽しく学べました。TA の方々、指導して下さった先生方に心から感謝します。
- 今回のフィールドワークを通して食と農について深く考える事ができて良かったです。自分が将来保育者になった時に子どもたちに今回学んだ事を伝えていくのが自分の使命だと強く感じました。
- たのしかったです。
- 初めてに近い、このような体験をして動物と人間の共通点や相違点、食と農について今まで以上に興味をもつことができよかった。これは自分にとって一生涯付き合っていくものであるため、他の人や子どもにもぜひ体験してもらいたい。
- 全体的に詳しく知らなくても1から教わることができたので、とてもわかりやすかった。発表も、大変だったけど作ることで考えをまとめられたのでやって良かったと思う。
- 東洋英和では同じ学部の人としか授業を受けたりすることがなかったので、他大の人と一緒に講義を受け、課題発表を一緒に作ったりできて良かった。普段関わることのない学部の人達と一緒に授業を受けられるのが良い点である。

《改善してもらいたい点》

- もっとゆったりすごしたかった。
- 食事のバリエーション、男女の量、布団が不清潔、トイレ・洗面台が部屋にない。
- 食事に広島の名産品を入れて欲しい。スケジュールが詰め詰めだと思う。

2. 九州大学大学院による農場利用

(1) 実施日程・内容

平成25年9月12日(木)
教員1名, 大学院生17名

日程	授業形態	内容
午後	—	農場の概要説明とガイダンス
	—	西条ステーション(農場)見学
	—	日本鶏資源開発プロジェクトセンター見学
	—	交流会

(2) 演習風景

<概要説明／自己紹介>



初めに本農場が教育関係共同利用拠点に認定された経緯や拠点として提供している演習科目の説明等があった。その後は参加者と本農場の専任教員とで自己紹介が行われた。

<農場見学ガイダンス>



農場を見学するにあたって、見学の注意事項や本農場の防疫体制に関する説明があった。この日は天候にも恵まれ絶好の見学日和となった。

<乳牛舎の見学>



乳牛舎では TMR を製造するための ROTO-MIX や TMR を自動で給餌する MULLERUP(ムーラップ)などの装置を見学しながら、本物の乳牛と対面した。

<搾乳ロボット>



最先端の搾乳システムである搾乳ロボットは全国の大学附属農場でも非常に希少な酪農設備であるため、実物を目にした教員と院生からは驚きの声があがっていた。システムに関する質問も多くあり、参加者の関心の高さがうかがえた。